

「月刊読売」

解題・詳細総目次・執筆者索引
増補改訂版

【刊行概要】

●体裁 B5判・上製・総392頁

●解題 石川 巧〈立教大学文学部教授〉

●定価 本体20,000円＋税

ISBN978-4-908147-26-5

●刊行 2014年12月

●推薦 佐藤卓己（京都大学大学院教育学研究科准教授）
田村俊作（慶應義塾大学文学部教授）

【誌名の変遷及び収録期間】

「月刊読売」	第1巻第1号(昭和18年5月創刊号)～ 第2巻第4号(昭和19年4月)	12冊
「青年読売」	第2巻第5号(昭和19年5月)～ 第3巻第3号(昭和20年3月)	11冊
「月刊読売」	第4巻第1号(昭和21年1月)～ 第9巻第17号(昭和26年10月) *第4巻第8号は欠号	85冊
「旬刊読売」	第9巻第18号(昭和26年11月)～ 10巻第20号(昭和27年7月)	26冊

月刊読売 復刻版

1943年～1952年

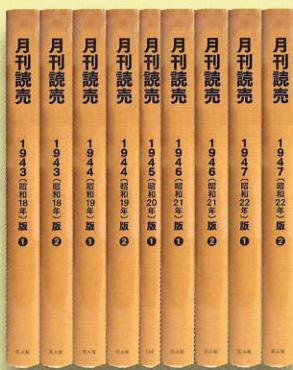
【復刻版刊行概要】

●体裁 B5判・上製・総約8、100頁

●解題 石川 巧〈立教大学文学部教授〉

●推薦 阪本博志・土屋礼子

坪井秀人・成田龍一



	配本	内容	巻数	本体価格
第1回	全5巻 本体84,000円 ISBN 978-4-906943-41-8 2014年07月	1943(昭和18)年版 ISBN 978-4-906943-42-5	全2巻	36,000円
		1944(昭和19)年版 ISBN 978-4-906943-45-6	全2巻	36,000円
		1945(昭和20)年版 ISBN 978-4-906943-48-7	全1巻	12,000円
第2回	全4巻 本体72,000円 ISBN 978-4-906943-49-4 2014年12月	1946(昭和21)年版 ISBN 978-4-906943-50-0	全2巻	36,000円
		1947(昭和22)年版 ISBN 978-4-906943-53-1	全2巻	36,000円
2014年度合計 本体156,000円＋税				
第3回	全6巻 本体108,000円 ISBN 978-4-906943-56-2 2015年05月	1948(昭和23)年版 ISBN 978-4-906943-57-9	全2巻	36,000円
		1949(昭和24)年版 ISBN 978-4-906943-60-9	全4巻	72,000円
第4回	全3巻 本体54,000円 ISBN 978-4-906943-65-4 2015年12月	1950(昭和25)年版 ISBN 978-4-906943-65-4	全3巻	54,000円
2015年度合計 本体162,000円＋税				
第5回	全5巻 本体90,000円 ISBN 978-4-906943-69-2 2016年05月	1951(昭和26)年版 ISBN 978-4-906943-69-2	全5巻	90,000円
第6回	全4巻 本体72,000円 ISBN 978-4-906943-75-3 2016年12月	1952(昭和27)年版 ISBN 978-4-906943-75-3	全4巻	72,000円
2016年度合計 本体162,000円＋税				

※全27巻揃価格 本体480,000円＋税 ※各巻18,000円＋税(1945年版のみ12,000円)

「月刊読売」 解題・詳細総目次・ 執筆者索引

1943年5月～1952年7月

増補改訂版

時代が読める、世相が見える、
コンテンツの宝庫

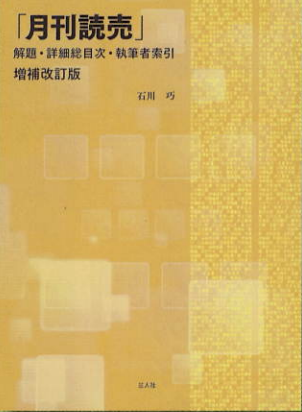
★本書の三大特徴

- ① 全号を保存している機関がなく、これまで細かい調査がなされていなかった「月刊読売」(全134冊)の全貌を解明!
- ② 記事の種類を約50の項目に分類し、本文から大見出し、中見出しを抽出、これに目次情報や写真キャプション・固有名詞を記事から拾って補った、詳細な総目次!
- ③ 多彩な執筆陣が一目でわかる、肩書き表記も採録。

★本書の対象領域

- 戦時中～占領期～戦後独立期の歴史研究
- 出版・メディア史研究
- 文化の社会学研究(大衆文化と生活——芸能・映画・漫画・野球・鬧市など)
- 女性史研究(フェミニズム——女性の権利、地位、意識の変遷など)
- 文学研究(連載小説、大衆小説、時代小説、全集未収録作品など)

三人社



- 定価 本体20,000円＋税
- 解題 石川 巧〈立教大学文学部教授〉
- 刊行 2014年12月

●表示はすべて税別

三人社

〒606-8316
京都市左京区吉田二本松町4 白亜荘
電話 075-762-0368
FAX 075-762-0369
振替 00960-1-282564

※図書館様・書店様へ
小社は少数出版のため取次口座はございません。ご注文は直接上記までお申し込みください。

戦時メディア統合が生んだ「新雑誌」の全貌

佐藤卓己（京都大学大学院教育学研究科准教授・メディア史）

『月刊読売』の存在については、福島鑄郎「新版・戦後雑誌発掘——焦土時代の精神」（洋泉社・一九八五年）に収載された『週刊読売』の誕生で知っていた。戦時下、情報局によって推進された新聞雑誌整理（統廃合）に逆行して新たに創刊された「総合雑誌」として気になる存在だった。正確に言えば、『月刊読売』は創刊ではなく、『新国民』の改題である。それは戦時新聞統合で『北海道新聞』に統合された読売新聞社傘下の『小樽新聞』が発行していた月刊誌である。その用紙配給権を引き継ぐべく、『月刊読売』が後継誌となった。その存在自体が戦時メディアの生態を如実に反映している。雑誌整理がほぼ終了した一九四四年段階で『時局雑誌』として継続が決まったものは、『月刊読売』の改題誌である『青年読売』を含め毎日新聞社の『週刊毎日』『時局情報』、朝日新聞社の『週刊朝日』『週刊少国民』、日本放送協会の『放送』、改造社の『改造』の七誌だけである。毎日新聞社と朝日新聞社の時局雑誌が『週刊誌』であったことは、『月刊読売』が戦後に『旬刊誌』から『週刊誌』へ変化していくことの必然性も示している。また、三大全国紙+NHKという戦後マスコミ秩序の基盤がここに成立した事実を読み取ることも可能だろう。本書は、戦時統合が生み出した雑誌が「戦時」占領期をどう生きぬき、「週刊誌ブーム」の中で『週刊読売』へどう変化していったのか、その全貌を明らかにするものである。「戦時」戦後」メディア体制を考える重要な糸口となる資料の刊行を喜ぶたい。

幻の雑誌の全貌を伝える見取図

田村俊作（慶應義塾大学文学部教授）

目録や記事索引など、書誌情報のデータベース化が進み、さらに最近では、書物自体のデジタル化も徐々に進んでいるが、さらに最近では、国の古い資料を検索・入手する環境は飛躍的に改善されてきている。ことに、国立国会図書館のデジタル化事業では、多数の書物が電子化され、全文検索こそできないものの、目次情報まで検索できるものもあり、制度上の課題は残っているが、インターネットを通じた入手環境整備に向けての大きな一歩であることは間違いない。

しかし、こうした大規模な事業には限界がつきまとうもので、例えば国立国会図書館の「雑誌記事索引」はすべての雑誌の記事情報を収録しているわけではないし、収録している雑誌にしても、短い記事などの情報は採録していない。雑誌全体を案内する「地図」として、雑誌自体からは知り得ない刊行の全貌を示してくれるという意味でも、雑誌の総目次はなお有用である。特に、敗戦前後の雑誌は、混乱の中で休・廃刊の様子を知ることが難しく、近年ようやく研究が進んできたとは言え、まだまだ地道に書誌調査を行ない、検索・入手の手段を整備することが求められる。

『月刊読売』もそうしたものの一つで、今日の『週刊読売』につながる雑誌であるにもかかわらず、これまでその刊行歴や所蔵状況が調べられることもなかったし、まして、その内容を概観する試みもなかった。「雑誌記事索引」や「大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録」でも、戦後刊行分が散発的に収録されているのみである。本書を通じて初めてその全貌をうかがうことができるようになった意義は大きい。関係図書館必備のツールとして刊行を喜ぶたい。

原寸組見本

▼月刊読売 第4巻第1号

昭和21（1946）年1月1日発行

※本来「一月一日発行」だが奥付に「二月一日」と誤記。

表紙	熱海錦ヶ浦海岸	宮内重蔵(写真)	表1
広告			表2
論説	巻頭言：新らしき出発	内藤良治(絵)	5
論説	宮中改革論序説：一切の偽装と偽瞞を廃せ	岩淵辰雄	6-8
俳句	松の雪	荻原井泉水	7
エッセイ	独自に生きん	小川未明	8
人物	時の人物：幣原喜重郎/近衛文麿	山浦貫一	9-11
エッセイ	あてがひ扶持	壺井栄	11
対談	従兄弟対談：新生日本の行く道 狭客は立派な民主主義者だ/出でよ！ユートピア文学/ 理想の国スエーデンのこと/日本文学の瘦地を開拓せよ/ 時流に乗る偽装民主主義者/日本は必ずよくなる	賀川豊彦/新居格	12-15
短歌	松上雪	結城哀草果	13
詩	学園にて	長田恒雄	14-15
評論	日本文化の後退と回復	長谷川如是閑	16-17
論説	専制と暴虐の典型：司法・警察制度を徹底刷新せよ	帆足計	18-19
論説	財閥と青年	鈴木茂三郎	20-21
論説	婦選の良心	中川善之助	20-21
グラビア	グラフ：帝都の表情		付録1
グラビア	グラフ：アメリカは科学する		付録2-3
グラビア	グラフ：新生のいぶき		付録4
論説	日本軍閥罪悪史（1） 軍閥とは/満洲占領計画の失敗/三月事件と十月事件	白木正之	22-24
論説	たから	新潟高校教授 植村清二	23
漫画	建設は地底から	加藤悦郎	25